

学位被授与者氏名	張 杉茹 (ちょう さんじょ)
論文題目	『外務省警察史』漢口租界罷工事件部分の研究
論文審査結果の要旨	<p>『外務省警察史』は、中国には伝えられてはいたものの、その句点のない「漢字片仮名交じり文」で作成された原始史料が難しすぎて、中国の研究者はほとんど読めないで、いまだ解明されていない。本研究は、『外務省警察史』第49巻「中支・漢口」の後半部分、すなわち漢口租界で大規模の罷工事件と昭和年間の漢口総領事館警察事務状況を明らかにしたものである。</p> <p>また、論者は中国の留学生でありながら、明治文章体で書かれた「漢字片仮名交じり文」の古日本語史料を解読した上、現代中国語に翻訳し、古文の構造、特殊用語などの解明にも努めた。とくに論者は中国語と日本語は言語体系が異なるが、共に漢字を使っており、同形の語彙も大量に存在していることに注目した。本研究はこの問題点を意識して展開されている。論者はこれからこの書物をさらにきちんとした形で整理し、詳細な注釈と解説文を付け加えた上で、中国で出版し、多くの中国研究者の役に立とうと考えているようである。武漢市史研究の空白を埋めることである。</p> <p>したがって、本研究は修士論文の基準に到達し、価値の有するものと認める。</p> <p>平成28年2月16日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>